



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月4日

上場会社名 株式会社ダイヘン 上場取引所 東・福
コード番号 6622 URL <https://www.daihen.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蓑毛 正一郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 企画本部経理部長 (氏名) 小澤 茂夫 (TEL) 06-6390-5506
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	155,825	22.5	10,256	31.2	11,241	32.0	7,653	△32.1
2024年3月期第3四半期	127,235	△0.0	7,818	△30.2	8,514	△29.5	11,269	27.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 11,069百万円(△18.3%) 2024年3月期第3四半期 13,557百万円(23.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 314.76	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	459.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 286,388	百万円 154,799	% 48.9
2024年3月期	277,200	148,595	48.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 140,018百万円 2024年3月期 134,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 82.50	円 銭 —	円 銭 82.50	円 銭 165.00
2025年3月期	—	82.50	—		
2025年3月期(予想)				82.50	165.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	8.7	16,000	5.6	16,800	4.5	12,000	△27.2	491.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) OTC DAIHEN INDIA Pvt.Ltd.、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	25,603,291株	2024年3月期	25,603,291株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,299,087株	2024年3月期	1,186,740株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	24,316,413株	2024年3月期3Q	24,522,730株

(注)期末自己株式数には、社員向け株式交付信託として所有する当社株式(2025年3月期第3四半期113,800株)が含まれております。また、信託が保有する当社株式を、期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(企業結合等関係)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の事業環境につきましては、生産自動化関連投資は抑制傾向が続きましたが電力インフラ関連・半導体関連の投資が堅調に推移しました。また、前年度第3四半期以降に買収した新規連結子会社の影響もあり、受注高は1,780億9千8百万円（前年同期比15.0%増）、売上高は1,558億2千5百万円（前年同期比22.5%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加やコスト削減の成果により、営業利益は102億5千6百万円（前年同期比24億3千7百万円増）、経常利益は112億4千1百万円（前年同期比27億2千7百万円増）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては前年度に計上した子会社株式取得に伴う負ののれん発生益等の影響により76億5千3百万円（前年同期比36億1千5百万円減）となりました。

セグメント別の状況につきましては、以下のとおりであります。

① エネルギーマネジメント

配電機器や国内の工場受電設備の更新が堅調に推移したことに加え、再生可能エネルギーの有効活用を目的とする電力需給調整市場の拡大を背景に蓄電池システムの販売が増加しました。また、東北電機製造株式会社と四変テック株式会社を連結子会社化した影響もあり、売上高は838億1千万円（前年同期比30.8%増）、営業利益は80億1千8百万円（前年同期比37億9千6百万円増）となりました。

② ファクトリーオートメーション

経済動向の不透明感から欧米での自動車関連投資等の先送りが続いたため、売上高は214億9千1百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益は6億7千1百万円（前年同期比17億4千7百万円減）となりました。一方、国内をはじめアジア諸国の生産自動化投資に持ち直しの動きがあり、受注高は増加（前年同期比16.1%増）となりました。

③ マテリアルプロセッシング

生成AI用途の先端半導体関連投資の拡大や中国での成熟世代向け投資の継続を背景に高周波電源システムの需要が増加したことに加え、Lorch Schweißtechnik GmbHを連結子会社化した影響もあり、売上高は504億3千3百万円（前年同期比29.5%増）、営業利益は49億3千8百万円（前年同期比8億7千9百万円増）となりました。

④ その他

売上高は1億4千4百万円、営業利益は3千1百万円で、前年同期からの大きな変動はありません。

(参考) セグメント別の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高		売上高		営業利益	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
エネルギーマネジメント	94,199	+0.3%	83,810	+30.8%	8,018	+89.9%
ファクトリーオートメーション	26,424	+16.1%	21,491	△10.8%	671	△72.2%
マテリアルプロセッシング	57,330	+51.1%	50,433	+29.5%	4,938	+21.7%
その他	144	+5.7%	144	+5.7%	31	+115.6%
全社計	178,098	+15.0%	155,825	+22.5%	10,256	+31.2%

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産合計は、受取手形及び売掛金が減少する一方、棚卸資産や建物及び構築物の増加などにより2,863億8千8百万円(前年度末比91億8千8百万円増)となりました。

負債合計は、賞与引当金が減少する一方、支払手形及び買掛金の増加などにより1,315億8千9百万円(前年度末比29億8千5百万円増)となりました。

純資産合計は、利益剰余金が増加する一方、自己株式の増加による減少などにより1,547億9千9百万円(前年度末比62億3百万円増)となりました。なお、自己資本比率は前年度末の48.4%から0.5ポイント上昇して48.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回公表値(2024年5月9日公表)からの変更はありません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,327	28,116
受取手形及び売掛金	57,746	44,712
商品及び製品	30,679	32,918
仕掛品	16,793	22,493
原材料及び貯蔵品	51,540	54,954
その他	7,666	8,042
貸倒引当金	△785	△1,097
流動資産合計	186,968	190,141
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,640	23,241
機械装置及び運搬具（純額）	8,251	9,511
工具、器具及び備品（純額）	2,049	2,228
土地	13,161	13,535
リース資産（純額）	345	396
建設仮勘定	4,437	3,907
有形固定資産合計	48,886	52,820
無形固定資産		
のれん	591	551
ソフトウェア	2,055	2,275
リース資産	0	—
その他	2,334	2,256
無形固定資産合計	4,982	5,083
投資その他の資産		
投資有価証券	14,536	17,029
出資金	700	684
長期前払費用	393	353
退職給付に係る資産	17,649	17,373
繰延税金資産	1,370	1,228
その他	1,758	1,702
貸倒引当金	△45	△29
投資その他の資産合計	36,362	38,342
固定資産合計	90,231	96,246
資産合計	277,200	286,388

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,040	21,316
電子記録債務	15,410	15,789
短期借入金	30,192	22,421
1年内返済予定の長期借入金	5,121	6,040
リース債務	90	115
未払法人税等	2,184	1,771
賞与引当金	3,285	1,953
役員賞与引当金	78	49
工事損失引当金	122	49
その他	10,111	11,830
流動負債合計	86,638	81,339
固定負債		
長期借入金	30,850	39,132
リース債務	197	236
繰延税金負債	4,855	4,765
役員退職慰労引当金	109	98
債務保証損失引当金	765	644
株式給付引当金	—	81
耐震工事関連費用引当金	578	574
製品安全対策引当金	3	2
退職給付に係る負債	2,954	3,083
資産除去債務	108	108
その他	1,542	1,522
固定負債合計	41,965	50,250
負債合計	128,604	131,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,596	10,596
資本剰余金	10,010	10,026
利益剰余金	94,767	98,790
自己株式	△2,349	△3,377
株主資本合計	113,025	116,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,208	6,657
繰延ヘッジ損益	△0	△3
為替換算調整勘定	9,104	12,012
退職給付に係る調整累計額	5,798	5,315
その他の包括利益累計額合計	21,110	23,982
非支配株主持分	14,459	14,780
純資産合計	148,595	154,799
負債純資産合計	277,200	286,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	127,235	155,825
売上原価	91,180	110,614
売上総利益	36,055	45,211
販売費及び一般管理費	28,236	34,954
営業利益	7,818	10,256
営業外収益		
受取利息及び配当金	392	698
持分法による投資利益	228	0
為替差益	192	189
補助金収入	23	431
その他	634	872
営業外収益合計	1,470	2,192
営業外費用		
支払利息	363	627
損害補償費用	38	119
その他	373	460
営業外費用合計	775	1,207
経常利益	8,514	11,241
特別利益		
負ののれん発生益	9,919	—
投資有価証券売却益	264	681
債務保証損失引当金戻入額	45	120
特別利益合計	10,229	802
特別損失		
段階取得に係る差損	4,600	—
貸倒引当金繰入額	277	315
退職給付制度改定損	—	96
特別損失合計	4,877	411
税金等調整前四半期純利益	13,866	11,632
法人税等	2,386	3,312
四半期純利益	11,480	8,319
非支配株主に帰属する四半期純利益	210	665
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,269	7,653

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	11,480	8,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	762	468
繰延ヘッジ損益	△4	△3
為替換算調整勘定	1,486	2,792
退職給付に係る調整額	△226	△513
持分法適用会社に対する持分相当額	58	6
その他の包括利益合計	2,076	2,750
四半期包括利益	13,557	11,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,329	10,409
非支配株主に係る四半期包括利益	227	660

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期会計期間より、重要性が増したOTC DAIHEN INDIA Pvt.Ltd.を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

・連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち、決算日が12月31日であるLorch Schweißtechnik GmbHは、同社の同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行ってまいりました。

連結財務諸表のより適切な開示を図るため、第1四半期会計期間より、連結決算日に仮決算を実施して連結する方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2024年1月1日から2024年3月31日までの3ヶ月間の損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	エネルギー マネジメント	ファクトリー オート メーション	マテリアル プロセッシング	計		
売上高						
外部顧客への売上高	64,059	24,094	38,945	127,099	136	127,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	11	1	13	—	13
計	64,059	24,106	38,946	127,112	136	127,249
セグメント利益	4,222	2,418	4,059	10,700	14	10,715

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、東北電機製造株式会社及び四変テック株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「エネルギーマネジメント」のセグメント資産が24,477百万円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,700
「その他」の区分の利益	14
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△2,895
四半期連結損益計算書の営業利益	7,818

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「エネルギーマネジメント」セグメントにおいて、東北電機製造株式会社、四変テック株式会社をそれぞれ連結子会社化したことにより、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益を9,919百万円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	エネルギー マネジメント	ファクトリー オート メーション	マテリアル プロセッシング	計		
売上高						
外部顧客への売上高	83,810	21,441	50,429	155,681	144	155,825
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	49	4	54	—	54
計	83,810	21,491	50,433	155,735	144	155,880
セグメント利益	8,018	671	4,938	13,628	31	13,659

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,628
「その他」の区分の利益	31
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△3,404
四半期連結損益計算書の営業利益	10,256

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年1月1日(企業結合日)に行われたLorch Schweißtechnik GmbHとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、中間連結会計期間に確定しております。これにより「マテリアルプロセスング」におけるのれんの金額が減少しております。

詳細につきましては、「注記事項(企業結合等関係)」をご参照ください。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	3,907百万円	4,787百万円
のれんの償却額	－百万円	51百万円

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2024年1月1日(企業結合日)に行われたLorch Schweißtechnik GmbHとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額2,040百万円は、会計処理の確定により1,449百万円減少し、591百万円となっております。のれんの減少は、無形固定資産その他(顧客関連資産等)が2,025百万円、繰延税金負債が575百万円増加したことによります。

また、前連結会計年度末の連結貸借対照表において、無形固定資産その他(顧客関連資産等)が2,025百万円、繰延税金負債が575百万円それぞれ増加しております。

なお、のれんの償却期間は9年、無形固定資産その他(顧客関連資産等)の償却期間は10~20年としております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	エネルギー マネジメント	ファクトリー オート メーション	マテリアル プロセッシング	計		
日本	61,194	7,620	30,745	99,559	6	99,565
北米	—	2,765	1,697	4,463	—	4,463
アジア	2,819	10,910	5,429	19,159	—	19,159
その他の地域	46	2,798	1,072	3,917	—	3,917
顧客との契約から生じる収益	64,059	24,094	38,945	127,099	6	127,105
その他の収益	—	—	—	—	130	130
外部顧客への売上高	64,059	24,094	38,945	127,099	136	127,235

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	エネルギー マネジメント	ファクトリー オート メーション	マテリアル プロセッシング	計		
日本	79,449	5,602	37,868	122,921	5	122,926
北米	—	1,880	1,800	3,681	—	3,681
アジア	4,361	10,750	5,692	20,803	—	20,803
その他の地域	0	3,207	5,067	8,274	—	8,274
顧客との契約から生じる収益	83,810	21,441	50,429	155,681	5	155,686
その他の収益	—	—	—	—	138	138
外部顧客への売上高	83,810	21,441	50,429	155,681	144	155,825

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。